

#### ■米国：エネルギー関連 CO<sub>2</sub>排出量は、2018年に2014年以来初めて増加

米国エネルギー情報局（EIA）は2019年11月26日、2018年の米国のエネルギー起源二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の総排出量は52億7,000万tで、2017年より2.7%増加したと発表した。同数値が前年比で増加に転じるのは2014年以来となる。主な増加の理由は、夏と冬の極端な天候と、堅調な景気による輸送関連の石油消費増に伴うものである。また、米国の総発電量は2018年に3.6%増加したが、電力部門のCO<sub>2</sub>排出量の増加は1.1%に留まった。近年、米国の発電構成は石炭から天然ガスや再エネにシフトしており、CO<sub>2</sub>排出原単位が低下している。